

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ニシヤマイバシヨラボ
まちづくり 活 動 名	街に新たなイバシヨを
活 動 地 域	名古屋市名東区西山学区
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>名古屋市名東区にある西山学区は、マンモス校である西山小学校を中心に約7,500世帯、老若男女多くの方が暮らしています。</p> <p>集合住宅も多いため人の出入りが激しいこともこの学区の特徴で、コミュニティが継続され辛く、マンション単位や幼稚園、保育園、小学校等の同級生単位などの小さなコミュニティは存在するものの、その垣根を越える交流は発生し難い状況にあると感じていました。</p> <p>そんな中、2019年に学区の中心に位置する西山商店街の空き店舗がリノベーションされ「ニシヤマナガヤ」というカフェや花屋が入る複合施設が誕生し、そこでは世代を超えた多くの方が集まり新たなコミュニティが形成されるようになりました。（名古屋市商店街機能再生事業）</p> <p>ニシヤマナガヤができたことで地域コミュニティに関して同じ問題意識を抱えていた3人が知り合い、2021年より様々なイベントを通じて住民同士のさらなるコミュニティ形成、新たなイバシヨを創出する活動を行っています。</p>
目 的 ・ 目 標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください）</p> <p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントを通じ、新たなコミュニティ形成のきっかけをつくる ・地域住民のイバシヨとなりうる拠点をつくる ・まちに眠っているスペースやアイデア、人材を掘り起こす <p>■目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が団体の活動の中核イベントと成長した「エホンノジカン」「イバシヨづくり妄想会議」に続く継続的なイベントを生み出す ・自発的なイベントだけでなく、地域住民のやりたい！を形にする <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなイベントを通じて、「エホンノジカン」や「イバシヨづくり妄想会議」とは異なる層のコミュニティが形成される ・地域住民のイバシヨとなりうる継続的イベントや拠点をつくることで、世代を超えた交流が生まれ、街の中に新たな「面白い」が創出されたり街の安心安全が強化されていき、住みやすく魅力的なまちが育っていく

活 動 内 容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>ニシヤマナガヤに続き、2022年に西山商店街に誕生して地域の人々の拠点になっている「暮らせる図書館」にて、大きく以下の4つの活動を予定している</p> <p>○「エホンノジカン」の継続 2年間活動を続けている乳幼児向けの絵本の読み聞かせ会「エホンノジカン」を今年度も継続して行います</p> <p>○「イバショづくり妄想会議」の継続 昨年度立ち上がった、居場所を作りたい人々が語り合うイベント「妄想会議」を今年も継続して行います</p> <p>○妄想会議の一步先「(仮称)実現ゼミ」を開催 毎回多くの方が集まる妄想会議の中には本気度の高い方もおり、その方達と一緒に次の一步に進むため、実際に居場所を作られた方を招き体験談を聞き、学びを得る「(仮称)実現ゼミ」を開催します</p> <p>○地域の人々の「やりたいを」つなげる「部活動」を開催 地域の方の「ちょっとやってみたい」、「誰かと一緒に始めたい」を掘り起こし、ニシマイバショラボがネットワークのハブとなって世代を超えた地域住民同士のコミュニティ形成のきっかけとなる「部活動」を開催します</p>	
活 動 予 定 間 期	令和5年6月 ～ 令和6年2月	
助 成 金 交 付 申 請 額	100,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>過去2年間の間にもこの地区には新しいマンションが次々と建ち、お店も様々入れ替わっています。転入転出も多く、またコロナ禍ということもあり、特に子育て世帯においては、地域のことを知るのにどこを頼ったらいいのかわからない現状が引き続きあります。</p> <p>これまで継続して実施している未就園児親子を対象とした「エホンノジカン」では、これまでの所属の垣根を越えた交流が生まれ、「話せる場所があって嬉しい」という声もいただきました。そこで出会った参加者同士の住まいが実は近かったことを知り、有事の際には頼りあえる安心が生まれたという声もあります。</p> <p>そして我々の活動を知って頂いた方から、同じように「居場所を作りたい」、「コミュニティを作りたい」といったお話を頂くようになり、そのような方々が集い語りあえる「イバショづくり妄想会議」という企画を昨年立ち上げました。そこで自身の妄想を語る事で頭の中が整理出来、また我々や同じ参加者からのアドバイスを参考にし、実際に行動を起こし始める方も現れました。</p> <p>このように、様々な層を対象としたコミュニティ形成、イバショづくりの活動は、地域に求められています。そして、この活動が人々の地域への愛着や帰属意識を高め、住人たちが自ら街をつくっていくという当事者意識を醸成する為にも必要とされるであろうと考えています。</p>	

審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的にになっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<p>昨年までの2年間で公式 SNS のフォロワーも 400 を越え、私たちの活動が地域住民にも少しずつ認知されてきています。活動拠点である西山商店街も「ニシヤマナガヤ」や「暮らせる図書館」など地域の方々が集う場所が増え始め、私たちの活動の後押しになっていると感じます。</p> <p>1年目は手探り状態で活動を始めましたが徐々に地域の人々とのネットワークが出来始め地域のニーズをしっかりとキャッチし、多くの方に情報を伝えられるようになり、より充実したイベントを開催出来るようになりました。</p> <p>今年度新たな試みとなる「部活動」の取り組みは、すでに「ボードゲーム部」と「星読む部」が立ち上がっており、最初にその分野に明るい方に入って頂いた事で、その分野に興味のある方、始めたい方が複数集まり、小さなコミュニティが出来つつあります。</p> <p>また過去二年間はコアメンバーの3人で運営を行って参りましたが新たにメンバーが一人加わり4人体制となり、さらに活動の幅を広げていける事になりました。</p>	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)	
<p>1年目に「エホンノジカン」、2年目に「イバシヨづくり妄想会議」という企画を立ち上げ、地域に定着させる事が出来ました。助成最終年となる3年目は、4年目以降も地域の財産となっていくような企画のフォーマットを作りたいと考えており、本格的にイバシヨを作りたい人をサポートする「(仮称)実現ゼミ」と地域の人々の興味を繋ぐ「部活動」といった取り組みを新たに始めます。</p> <p>(仮称)実現ゼミでイバシヨづくりを成し遂げた先人よりアドバイスを受け、その話を聞いた受講生が実際に自分でもイバシヨを作り始め、数年後には実現ゼミの講師側で登壇して頂き同じようにイバシヨ作りをしたいと考えている方へアドバイスを送る、といった良いサイクルを生み出していきたいと考えています。</p> <p>また、大人になってからは新たな友達作りや趣味を始めるのは中々難しいと感じておりますが「部活動」という括りを作る事で人々が集まりやすくなり、自発的に地域に小さなコミュニティが誕生するのではないかと考えています。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2023	4	部活動 活動報告会 エホンノジカン	4/8 地域交流を目的としたイベント 4/16 名古屋都市センター 4/21 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け）
	5	部活動 ミーティング エホンノジカン イバシヨづくり妄想会議	5/13 地域交流を目的としたイベント 5/14 暮らせる図書館 5/19 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 5/20 居場所づくりや挑戦したいことを話す雑談会
	6	部活動① ミーティング エホンノジカン	6/10 地域交流を目的としたイベント 6/11 暮らせる図書館 6/17 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け）
	7	イバシヨづくり妄想会議 エホンノジカン 書道イベント	7/1 居場所作りや挑戦したことを話す雑談会 7/21 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 7/25 夏休みの書道宿題イベント（小中学生向け）
	8	部活動② ミーティング イバシヨ作り妄想会議	8/5 地域交流を目的としたイベント 8/6 暮らせる図書館 8/3・8/24 居場所づくりや挑戦したいことを話す雑談会
	9	部活動③ ミーティング エホンノジカン (仮称)実現ゼミ①	9/8 地域交流を目的としたイベント 9/10 暮らせる図書館 9/15 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 9月下旬イバシヨづくりの実践者によるセミナー
	10	部活動④ エホンノジカン イバシヨづくり妄想会議	10/14 地域交流を目的としたイベント 10/20 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 10/21 居場所づくりや挑戦したいことを話す雑談会
	11	部活動⑤ ミーティング エホンノジカン (仮称)実現ゼミ②	11/10 地域交流を目的としたイベント 11/11 暮らせる図書館 11/16 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 11月下旬イバシヨづくりの実践者によるセミナー
	12	部活動⑥ エホンノジカン イバシヨづくり妄想会議 (仮称)実現ゼミ③	12/8 地域交流を目的としたイベント 12/9 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 12/21 居場所づくりや挑戦したいことを話す雑談会 12月下旬イバシヨづくりの実践者によるセミナー
	2024	1	ミーティング (仮称)実現ゼミ④
2		エホンノジカン リーフレット作成 活動報告書作成	2/16 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け） 「イバシヨラボのおはなし」→vol3作成 (活動まとめ)
3		エホンノジカン	3/15 絵本の読み聞かせ会（未就園児親子向け）

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
	まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			100,000
活動経費の内訳	消耗品費	活動全般	事務用品代 (ペンや付箋など)	1,000 (1,000)
	物品費	部活動	部活動に使用する物品等の購入 (ホワイトボードなど)	5,000 (5,000)
	印刷費・広告費	活動成果まとめ	リーフレット 「イバシヨラボのおはなし」制作費 (作成費) デザインを依頼 (印刷費) 4,000円 x 5冊	40,000 (20,000) (20,000)
	謝金	部活動・実現ゼミ	外部講師への謝金 (部活動 5,000円 x 6回) (実現ゼミ 6,000円 x 4回)	54,000 (30,000) (24,000)
支出合計				100,000